

## 蘇州で昼食

油をベースにした美味しい中華料理にも少々飽きた頃であった。日本人の私にはあっさりとした蕎麦かうドンの麺類が恋しく思えてきた。中華のフルコースが続いていただけに一層そう思えたのかも知れない。昼時に蘇州の街を歩いていると日本そばの写真が入った看板を見つけた。これだ！と思い、店に入って注文をした。

出てきたのは蘇州麺といわれる、この地方の名物であったことが後でわかった。あっさりとしたスープと細麺が基本となっており、見た目は日本蕎麦ではないかと間違えるほど。一緒に出され豚の角煮を暑いスープの中に沈めて食べてみた。すると益々コクが出てラーメンに近いような味となった。しかし麺類には違いない。何かお腹がスッキリした思いで、不思議な落ち着きを感じた。



とにかく今年の日本は異常な暑さ。中国の夏も全く同じであり私には辛い季節となった。どうしても冷たい飲み物が欲しくなる。しかし大変なカルチャーショックを感じた。それは駅の売店で水を購入しても段ボールから出してそのまま売っている。すべてが常温である。冷やすという習慣が全くない。私の大好きなビール。この店でサントリービールがあると聞き注文してみるとこれも常温であった。とても飲めたものではない。仕方なく氷を入れて頂くことにした。これも身体を冷やさないという中国の長い歴史を持つ先人からの教訓であろうか。撮影 2010年夏



